

清たんのしっぽ・・・杉谷地区

清明地区のシンボル「城山（じょうやま）」を見上げる田んぼの中に、ポツンと小さな祠（ほくら）があり、「蛇神社」といいます。

ここには、「白蛇」がまつられており、このような言い伝えがあります。

むかし、白蛇は神の使いとも言われ、おそれられていました。

ある若者が、田んぼをたがやしていたときのことです。

とつぜん、大きな白蛇が目の前に現れました。

若者はびっくりして持っていた道具で、その白蛇を殺してしまいました。

すると、次の日の朝、元気だった若者が突然亡くなってしまったのです。

これを知った村人は、「白蛇様の祟り（たたり）だ」と思い、それを鎮めるため、すぐに、白蛇が出たところに小さな祠を建てておまつりしたとのことでした。

